

令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名		高石商工会議所	
	代表者職・氏名		会頭 山内 和彦	
	所在地		大阪府高石市綾園2丁目6番10号	
	担当者	職・氏名	中小企業相談所長 磯川 亜紀	
		連絡先	T E L（直通）：	072-264-1888
			F a x：	072-261-7676
E - m a i l：	tcci@gold.ocn.ne.jp			
①設立年月日		昭和58年4月1日		
②職員数 （うち経営指導員数）		11名（経営指導員8名）（令和3年3月31日現在）		
③所管地域		高石市		
④管内事業所数		2036（平成28年度経済センサス）		
⑤管内小規模事業者数		1396（平成28年度経済センサス）		
⑥会員数（組織率）		1014（令和3年3月31日現在）（49.8%）		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること				
□主な事業概要（定款記載事項等）				
<p>(1) 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>(2) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>(3) 商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>(4) 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。</p> <p>(5) 商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査を行うこと。</p> <p>(6) 輸出品の原産地証明を行うこと。</p> <p>(7) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>(8) 商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。</p> <p>(9) 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。</p> <p>(10) 博覧会、見本市等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>(11) 商事取引に関する仲介又はあっせんを行うこと。</p> <p>(12) 商事取引の紛争に関するあっせん、調停又は仲裁を行うこと。</p> <p>(13) 商工業に関して、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>(14) 商工業に関して、商工業者の信用調査を行うこと。</p> <p>(15) 商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること。</p> <p>(16) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>(17) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>(18) 前各号に掲げるもののほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>				

<p>(1) 事業の目標</p>
<p>所管の小規模事業者が自身の課題を把握し、解決できるように伴走型の支援を行う。事業者を取り巻く環境の変化に対応するため、きめ細かく新鮮な情報とその活用法を提供する。柔軟な相談対応により事業者の意識改革をおこし、消費者のニーズの変化に迅速に対応できるよう支援する。また、支援した事業者のフォローアップを適宜行う。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p>
<p>●経営相談事業は、小規模事業者の資金面での経営基盤の強化や人材や労働力の確保と育成、税務、販売促進・市場開拓など事業所の課題解決に向けて取り組んだ。特に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者へは、4月は土曜日に臨時窓口を開設して対応、また、突然の来所相談や電話での問合せの増加に合わせ、経営指導員の窓口対応を当番制にして体制を強化し、支援を続けている。</p> <p>●専門相談事業は、税務・法律・知的財産権について定期的に相談日を設け、専門家と連携して支援した。労務相談では、相談があれば開催するオンデマンドで実施し、課題を抱える事業者柔軟に対応した。</p> <p>●地域活性化事業 「働きやすい職場づくり推進事業」コロナ禍で整備が急務とされるテレワークの導入と働き方改革・働きやすい職場環境づくりをテーマとする2つのセミナーを開催した。「中小企業のためのグローバル人材確保事業」人材不足に悩む中小企業が外国人留学生の積極的な活用を検討できるよう、セミナーと意見交換会を開催した。「BCP策定支援事業」BCP・BCMに関心のある企業の発掘と普及啓発を行った。「人材確保対策事業」若手人材の採用と定着支援、高年齢者雇用の促進を図るため、3つのセミナーを開催した。「創業セミナー」起業家の育成・創業の促進を目的として、創業セミナーを開催し、創業機運の醸成と地域に潜在する起業家の掘り起こしを図った。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p>
<p>●経営相談支援事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業所への訪問が敬遠される中では積極的な巡回が実施できなかったものの、感染症の影響を受けた企業からの相談が増加し、窓口相談で対応した。新型コロナウイルス関連貸付に関する相談は4～6月に集中し、金融支援（紹介型）は昨年の2倍の実績となった。その他、雇用に関する課題やコロナ禍での事業計画の作成など、多岐にわたる支援を行った。事業計画作成支援を行った小規模事業者持続化補助金は、申請99件（採択結果待ちを含む）に対し、52件が採択された。事業計画書の作成支援をきっかけに継続して窓口相談を利用する事業者が増えたので、その対応は事業者から一定の評価を得ているものと思われる。</p> <p>●地域活性化事業で実施した、働きやすい職場づくりや外国人留学生の雇用、BCP策定、創業をテーマとしたセミナーはいずれも満足度は80%以上と高かった。セミナーで事業継続に必要な情報を提供することによって、企業が新たな事業展開に取り組む契機となったことがうかがえる。</p> <p>「中小企業のためのグローバル人材確保事業」参加企業と羽衣国際大学の外国人留学生による少人数グループでの意見交換会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、事前に学生から寄せられた質問に対し、参加企業の担当者が回答するスクール形式に変更した。具体的に個々の外国人留学生の生の声は聴けなかったが、一方で外国人留学生の疑問や不安に共通性や一定の傾向を見出し、他の参加企業の回答や考え方を知る機会にもなった。参加企業の外国人留学生の雇用への意識向上につながり、自社の現状を把握する機会となった。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p>
<p>●経営相談事業では、新型コロナウイルスの影響で、昨年3月以降売上低下、資金繰りの悪化の相談を多く受け、事業の資金確保のための金融支援や従業員雇用のための助成金に関する支援、売上回復を図るための補助金申請にかかる支援を行った。事態が収束するまで営業継続できることが事業者の課題となっている。</p> <p>●地域活性化事業で実施したセミナーは、創業を除いて支援実績率が計画を下回ったが、いずれも満足度は高かった。セミナーで提供した情報の活用に前向きな企業が多かったが、労働環境の整備や受講者自身の意識の改革などのモチベーションが継続されるよう、フォローしていく必要がある。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p>
<p>●経営相談支援事業では、小規模事業者の多くが新型コロナウイルスの影響を受けており、経営環境が大きく変化している。次々に施行される支援策に関して相談を求める事業者への対応に追われるあまり、その根底にある課題の掘り下げにまで至らず、実績とならない支援も多かった。これを事業所の現状把握の機会ととらえ、今後の支援に役立てたい。新型コロナウイルス感染症の影響やその対策が長引くにつれ、事業者には先行き不透明な事態への対応疲れが見られるので、いっそう気持ちを引き締め、事業者に寄り添った支援を継続していく。支援策が創設、改正されたらいち早く情報を提供して情報発信者としての役割を果たす。</p> <p>●地域活性化事業のセミナーの実施には、オンラインまたはハイブリッドの導入も検討し、参加企業の利便性を図る。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 高石商工会議所

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>新型コロナウイルス感染症の影響に苦しむ事業者への支援として、4月の土曜日に相談窓口を開設して体制を強化した。外出自粛や休業要請・営業時間短縮等により経営が急激に悪化した事業者の資金繰りをはじめとして、雇用に関する課題やコロナ禍での販売促進のための事業計画の作成など多岐にわたる支援を行った。</p> <p>●金融支援（紹介型）は、新型コロナウイルスの影響を受けて特別貸付を希望する事業所を支援し、昨年の2倍の実績となった。一方、指導型の支援実績は、例年の約半分であった。</p> <p>●事業計画作成支援では、小規模事業者持続化補助金の申請に至ったものが大半であった。未曾有の事態となったコロナ禍における事業の継続のため、方針転換を余儀なくされる事業所にとって、事業計画書の作成は市場や業界の情報収集と自社分析の契機となり、今後の方針決定に活用されている。融資実行や補助金が採択された事業所においては、事業の継続性、新たな取組みに繋げるなど経営改善が図られている。</p> <p>●代表事例</p> <p>新型コロナで落ち込んだ売上を回復するため、新規事業に取り組みたいと飲食店Aより相談を受けた。非対面型システムの導入と広報活動の資金は小規模事業者持続化補助金を活用することにし、事業計画作成支援を行った。支援の際に浮かび上がった労働環境の整備に関する課題については、労務支援により解決した。コロナ禍での営業活動に苦慮しながらも、柔軟に方向転換しながら前進を続けている。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	375	442	117.9%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	4	4	100.0%	5	
金融支援（紹介型）	支援数	100	106	106.0%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	20	19	95.0%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0		-	
資金繰り計画作成支援	事業所	40	43	107.5%	5	
記帳支援	事業所	15	19	126.7%	5	
労務支援	支援数	36	37	102.8%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	5	
マーケティング力向上支援	事業所	0	0		-	
販路開拓支援	支援数	7	7	100.0%	5	
事業計画作成支援	支援数	96	95	99.0%	5	
創業支援	事業所	8	10	125.0%	5	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	1	1	100.0%	5	
コスト削減計画作成支援	事業所	0	0		-	
財務分析支援	事業所	200	234	117.0%	5	
5S支援	事業所	0	0		-	
IT化支援	事業所	0	0		-	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		-	
事業承継支援	事業所	3	9	300.0%	5	
災害時対応支援	事業所	170	165	97.1%	5	
フォローアップ支援	事業所	30	30	100.0%	5	
結果報告	事業所	370	438	118.4%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>小規模事業者が抱える専門性の高い経営課題の解決に向け、各専門家を活用した専門相談を実施した。経営指導員が受けた相談から経営課題を把握し、適切な専門相談につなぐことにより、問題の早期解決を図ることができた。</p> <p>税理士による適正な税務を推進する税務相談、弁護士による法律相談、金融関係者による金融相談、弁理士や専門相談員による特許などの特殊な知的財産権に関する相談など、専門性の高い問題の解決に向けて支援を行った。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務支援	継続	支援日数	12	12	100.0%	5
法務支援	継続	支援日数	10	9	90.0%	5
労務支援	継続	支援日数	6	6	100.0%	5
知的財産権支援	継続	支援日数	5	5	100.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>●働きやすい職場づくり推進事業：雇用する側とされる側のミスマッチや時代の変化など、働き方改革の背景をたどりながら、労働生産性の本質が事業の安定継続に重要であることを解説したところ、参加企業が法改正や時代の変化についていけないと気付くきっかけとなった。テレワークなどを導入することで新しい労働環境を整備することの重要性についてセミナーで伝えた。</p> <p>●中小企業のためのグローバル人材確保事業：セミナーと交流会を実施したことで、参加企業は外国人労働者や留学生の現状、在留資格の許可基準、就職に係る現状や課題、雇用することによる企業のメリットなどを理解することができた。また、留学生と意見交換を通じて、留学生の考え方に対する理解を深め、自社が求める人物像が明確になっていくことを実感できた。</p> <p>●BCP策定支援事業：セミナーを通じBCPの策定に取り組んだことで、発災時に従業員が対応しなければならない具体的な点と従業員への周知徹底の重要性を認識し、一歩進んだ課題に気付くことができた。</p> <p>●人材確保対策事業：ペアワークやロールプレイングを通じて、受講者のほとんどがコミュニケーションの重要性を認識することができた。上司と部下の橋渡し役となる中堅社員のコミュニケーションスキルが若手社員の離職防止や育成にも役立つことが実感できた。（中堅社員育成セミナー）</p> <p>●創業セミナー：創業に関して感じていた不安や疑問について、93%の受講者が解決できた。創業に必要な知識や情報を習得するだけでなく、収支計画やアクションプランなどを実際に記入することで、創業までの準備やスケジュール感、自身の強みを把握し、多くの受講者が創業意欲を高めた。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	働きやすい職場づくり推進事業	30	12	40.0%	84.5	働きやすい労働環境の整備に取り組もうとする事業所の割合	80%	85.7%	107.1%	4
○	中小企業のためのグローバル人材確保事業	25	9	36.0%	88	外国人留学生の雇用について正しく理解できた企業数	80%	100.0%	125.0%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	BCP策定支援事業	25	8.5	34.0%	93.5	事業継続力強化計画等を作成する事業所数	25	8	32.0%	3
○	人材確保対策事業	60	34	56.7%	81.6	中核人材となるためのコミュニケーションスキルの重要性を認識できた受講生の割合	80%	100.0%	125.0%	5
○	創業セミナー	40	52	130.0%	84.2	受講者のうち創業する事業者の割合	20%	25.0%	125.0%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

高石商工会議所

事業名		働きやすい職場づくり推進事業						
想定する実施期間		2019 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>中小企業庁の「2017年版中小企業白書概要」によれば、日本全国にある中小企業数は日本の全企業数の99.7%にあたり、全労働者の約70%を占め、中小企業で働き方改革が進めば、日本の社会や労働環境などに大きな影響が予想される。</p> <p>また、IoTやAIの進歩に伴い、消費者のニーズも急速に移り変わっており、働き方も大きく変えなければならない時期を迎えている。</p> <p>さらに、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大がもたらす働き方の変化を余儀なくされるようになった今、業務のあり方を根本的に見直す必要に迫られている。</p> <p>劇的に変化を遂げている中小企業を取り巻く環境において、働きやすい労働環境を整備することで従業員のモチベーションアップと業務の効率化により業績の向上を図ることを目的とする。</p>						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	働きやすい労働環境の整備を急務とする事業所全般						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>(1) 日 時：2020年11月27日(金) 14時～16時 場 所：高石商工会議所 3階大会議室 講 師：大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター・特定社会保険労務士 内 容：『テレワーク導入について』 ①テレワーク導入にかかる課題について ②活用できる助成金等について 参加者：4社(4名)</p> <p>(2) 日 時：2021年2月10日(水) 19時～21時 場 所：高石商工会議所 3階大会議室 講 師：中小機構近畿本部 中小企業支援アドバイザー 内 容：『働き方改革と働きやすい職場環境づくり』 ①生産性はどうすれば向上するのか ②人材不足、早期退職に対応するには・・・ 参加者：8社(9名)</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>						
	①府施策連携	労11番 大阪府雇用推進室労働環境課との連携により、広報協力を得た。テレワーク導入セミナー開催については、同課職員にも参加いただき、大阪府施策の周知を図った。						
	②広域連携							
③市町村連携	高石市発行の広報誌にて、セミナー開催の記事を掲載し周知を図った。							
④相談相乗	セミナー終了後に労働相談の実施や講師との質疑応答時間を設け、令和3年度に施行される「働き方改革関連法」における内容について個別相談にて対応を行った。							
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	12.0	支援実績率	40.0%	満足度	84.5

事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>①「テレワーク導入について」 支援企業目標であった15社を下回る4社(4名)の参加であった。 しかしながら、「新しい労働環境の整備に取り組む必要性」を問うたアンケートでは「とても必要」・「必要」と回答された割合は75%となり、危機感を募らせている事業者を理解を深めていただいた。</p> <p>②「働き方改革と働きやすい職場環境づくり」 支援企業目標であった15社を下回り8社(9名)の参加であった。 しかしながら、「働きやすい労働環境の整備に取り組む必要性」を問うアンケートでは「とても必要」・「必要」と回答された割合は85.7%となり、セミナー内容における満足度は約90%の方に満足いただき一定の成果が得られた。</p>					
	代表指標	働きやすい労働環境の整備に取り組もうとする事業所の割合					
	数値目標	80%	実績数値	85.7%	目標達成度	107.1%	
	成果の代表事例	製造業A社は、求人情報を出しても人が集まらず、仕事が増えている現状に、自らが法改正や時代の変化についていけないと気付くことができた。どこから手を付けたらよいかかわからなかったが、セミナーがその最初のステップになったと感じている。					
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>①「テレワーク導入について」に関しては、コロナ禍で急速に普及した非対面営業の方法や注意点などについて学んでいただいた。 コロナの感染拡大が継続しているので引き続き、ツールとして活用いただけるよう支援を行う。</p> <p>②「働き方改革と働きやすい職場環境づくり」に関しては、「人材確保が急務」や「人出不足」・「人の定着が事業の安定継続には重要」などの課題が見つかった。</p> <p>次年度以降については、2021年4月より全面的に施行される「同一労働同一賃金」で全ての事業者が対象となるにあたり、今後はセミナー等でのフォローではなく個社支援に切り替えて幅広く周知を行っていく。</p>					

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	8.0	支援実績率	53.3%	満足度	87.1
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	労働生産性の本質の部分については、難しいとしつつも、人の定着が事業の安定継続には重要であることなど理解していただいた。							
		指標	働きやすい労働環境の整備に取り組もうとする事業所の割合						
	数値目標	80%	実績数値	85.7%	目標達成度	107.1%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	4.0	支援実績率	26.7%	満足度	80.0
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	業種との兼ね合いはあるものの、テレワークなどの手法を取り入れ、新しい労働環境を整備することに、とても前向きに捉えられた。							
		指標	新しい労働環境の整備に取り組もうとする事業所の割合						
	数値目標	80%	実績数値	75%	目標達成度	93.8%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

高石商工会議所

事業名		中小企業のためのグローバル人材確保支援事業						
想定する実施期間		2019 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	企業における優秀な人材の不足は依然として続いており、このような状況に対応できる人材として、外国人留学生の活用があげられるが、在留資格や法制度、ビジネス慣習の違いなどを高いハードルと感じ、活用は十分に進んでいるとは言い難い。また、日本で就職し活躍したいと考える外国人留学生が多く存在する中で、企業の受入れ体制が整っていない等の理由から、外国人留学生を採用しても定着しないこともある。そこで、中小企業が外国人留学生の積極的な活用を検討できるよう外国人留学生の採用意欲向上を図り、中小企業と外国人留学生を結びつけられるよう支援する。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	外国人留学生の雇用を考えている中小企業						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>(1) 外国人留学生雇用対策セミナー 日 時：2020年9月29日(火) 14時～16時 場 所：高石商工会議所 3階大会議室 講 師：厚生労働省 大阪外国人雇用サービスセンター 内 容：①外国人労働者の現状について ②外国人留学生の現状について ③在留資格について ④外国人の就職に係る現状と課題 など 参加者：5社(7名)</p> <p>(2) 企業と外国人留学生との交流会in羽衣国際大学 日 時：2020年11月25日(水) 13時～14時30分 場 所：羽衣国際大学 1号館 1305室 テーマ：①日本で就職するとして、どのような仕事をしたいか。 ②就職活動を行う上で、不安なこと。 ③振り返り 参加者：企業3社(3名) 留学生27名</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>						
	①府施策連携	労2番 当所ホームページやセミナー・交流会開催チラシなどを活用し、グローバル人材(外国人留学生)採用・定着支援事業への登録を誘導した。セミナーと交流会当日に、グローバル人材(外国人留学生)採用・定着支援事業を紹介した。						
	②広域連携							
	③市町村連携	産業連携協定を締結している高石市と共催し、参加企業の募集を行った。また、大阪外国人雇用サービスセンターやハローワーク泉大津にも参加企業の募集にご協力いただいた。						
④相談相乗	セミナー終了後に講師に向けて個別相談があった。さらに、相談内容等を掘り起こしたことで、事業計画作成支援等に繋げることができた。							
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	36.0%	満足度	88.0

事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	日本で就職したいと考える外国人留学生が多く存在する中で、企業の受入れ体制が整備されていないことから、市内中小企業における外国人留学生の採用事例が少ない。しかし、セミナーと交流会を実施したことで、外国人労働者や留学生の現状、在留資格の許可基準、就職に係る現状や課題、雇用することによる企業のメリットなどを理解することができた。また、交流会に参加した企業は、留学生の考え方に対する理解を深め、留学生と意見交換をすることで、自社が求める人物像が明確になっていくことを実感していただけた。					
	代表指標	外国人留学生の雇用について正しく理解できた企業数					
	数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%	
成果の代表事例	外国人実習生の受け入れ実績はあるものの、外国人留学生の雇用をしたことがないので、在留資格の許可基準や雇用することのメリット等を知り、正しく理解することができた。言葉の壁や習慣・風習の違いをお互いに理解して共に長く働いていきたいと回答があった。						
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>【外国人留学生雇用対策セミナー】</p> <p>制度や手続きに関する説明だけでなく、外国人留学生の雇用がもたらす事業活動へのメリットを紹介し、より多くの企業に関心をもってもらえるよう取り組む。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により採用活動を見送る企業もあってか、受講者が想定より少なかったため、次期は広報方法を工夫し、受講者の獲得を目指す。コロナの状況によっては、オンラインまたはハイブリッドでの開催も検討する。</p> <p>【企業と外国人留学生との交流会】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、グループごとの意見交換を実施せずに、事前に取りまとめた留学生からの質問に対して参加企業に回答していただく方法にやむなく変更した。参加企業と留学生が意見交換するには、やはりグループで行うのが効果的と考えており、次期はソーシャルディスタンスを十分に確保できる会場でグループでの意見交換を行いたい。</p>					

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	30.0%	満足度	96.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	外国人労働者や留学生の現状から、在留資格の許可基準、就職に係る現状や課題、雇用することによる企業のメリットなどを説明し、全受講者から理解できたと回答があった。また、今後は外国人留学生の雇用を前向きに検討したいとする企業があった。							
		指標	外国人留学生の雇用について正しく理解できた企業数						
	数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	5.0	支援企業数(実績)	3.0	支援実績率	60.0%	満足度	66.7
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	交流会に参加したことで、留学生の考え方に対する理解を深めることができたので、今後の採用活動の参考にしたいと参加企業から感想があった。留学生と意見交換をすることで、自社が求める人物像が明確になっていくことを参加企業に実感していただけた。							
		指標	自社が求める外国人留学生の人物像が明確になった企業						
	数値目標	80%	実績数値	0%	目標達成度	0.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

高石商工会議所

事業名		BCP策定支援事業							
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	近年日本では地震や台風などの大きな災害が頻発している。さらには感染症や情報セキュリティ問題など、多様な脅威に対する備えの必要性がますます高まっている。しかしながら大阪府内において、BCPを策定している企業数は全国平均を下回っており、管内においてもBCPの必要性を感じていない事業所が多くを占めている。事業継続力強化計画の認定制度が導入されるなど、BCP策定に向けた機運は高まっており、南海トラフ地震による大きな被害も予想される本地域でのBCP普及啓発を目指す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	全ての業種を対象に、BCPが未策定の事業所。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日時：2020年10月20日(火)13時30分～16時30分 内容：BCPの解説と発動事例の紹介を行い、超簡易版BCPの策定ワークを行った。大阪府や大阪府商工会連合会の支援制度、国のレジリエンス認証制度等を紹介した。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	商9番 事業内容や策定事例等の情報交換を行い、相互連携を図る。セミナー内で、大阪府並びに大阪府商工会連合会の策定支援事業や施策を紹介し、参加者に活用してもらう。						
②広域連携		地域課題が近い近隣商工会議所・商工会との広域連携(3市1町)により実施し効率化を図った。							
	③市町村連携	高石市発行の広報誌にセミナーの募集記事を掲載し、周知を図った。							
	④相談相乗	BCP・BCMに対する関心を高め、策定支援企業の相談対応、専門家への繋ぎ支援を行う。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	8.5	支援実績率	34.0%	満足度	93.5
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	受講企業の多くがBCP未策定であったが、超簡易版BCPの策定を行ってみて、実際にBCPを策定するために必要な情報および検討しなければならない事項について認識し、理解を深めた。 (アンケート結果) 「BCP」については、参加者全員が知っていると回答。また、受講者全員が大変役立った・役立ったと回答した。							
		代表指標	事業継続力強化計画等を作成する事業所数						
		数値目標	25	実績数値	8	目標達成度	32.0%		
	成果の代表事例	セミナーを通じBCPの策定に取り組んだことで、発災時に従業員が対応しなければならない具体的な点と従業員への周知徹底の重要性を認識し、一歩進んだ課題に気付くことができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	南海トラフ地震が発生した場合の地震・津波による大きな被害が想定される地域であり、事業所への訪問などによりセミナーへの参加を促したが、計画した支援企業数には届かなかった。しかしながら、参加者の満足度は高く、企業にとって重要なテーマであるため、より多くの参加が得られるように引き続き広報に努める。 また、大阪府並びに大阪府商工会連合会と連携し、策定支援事業を活用しつつ、大阪府と連携を密にし、BCPの策定に取り組んでいく。							

高石商工会議所

事業名		人材確保対策事業									
想定する実施期間		2019 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること									
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>少子高齢化による労働力減少が深刻な中、中小企業の人材確保はますます困難な状況にある。厚生労働省の「新規学卒者の事業所規模別離職状況」によると、事業所の従業員規模が小さくなると反比例して離職率が高くなる傾向がある。このことが中小企業の核となるべき人材の育成を妨げていることから、雇用対策（定着支援）と中堅社員に必要なスキルを習得できる人材育成事業を実施して離職率の低下と雇用の維持・推進を図る。また、中小企業が事業を継続するためには、高齢者の持つ豊富な知識や経験を活用することが不可欠であるため、高齢者雇用をサポートして、企業側が持つ不安要素の解消や高齢者が活躍できるための環境整備に繋げる。</p>									
	支援する対象 (業種・事業所数等)	中小企業の経営者や人事担当者									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>(1) 雇用対策（定着支援）セミナー 日 時：2020年9月8日（火）14時～16時 場 所：高石商工会議所 3階大会議室 講 師：中小企業診断士 内 容：①コミュニケーションとは？ ②聴く力とは？ ③モチベーションとは？ ④コーチングとは？ など 参加者：12社（14名）</p> <p>(2) 高齢者雇用促進セミナー 日 時：2021年1月19日（火）14時～16時 場 所：高石商工会議所 3階大会議室 講 師：特定社会保険労務士 内 容：①高齢者雇用に関する法改正 ②高齢者雇用に関与する助成金 ③シニア就業促進センターや産業雇用安定センターの取組み など 参加者：6社（6名）</p> <p>(3) 中堅社員育成セミナー 日 時：2021年2月24日（水）14時～16時 場 所：高石商工会議所 3階大会議室 講 師：コミュニケーションセミナー講師 内 容：①中堅社員に求められる役割 ②コミュニケーションの重要性 ③コミュニケーションスキルの実践 など 参加者：12社（24名）</p>									
	<p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td> <p>労3番 就業促進課企業支援グループとの連携により、若手社員の採用・定着を支援した。参加企業、人材育成や労務に関する相談者を「OSAKAしごとフィールド」へ登録を誘導した他、セミナーでOSAKAしごとフィールドを紹介した。 労8番 就業促進課就業支援グループと連携し、高齢者雇用の促進を図った。</p> </td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td> <p>近隣の商工会議所・商工会との広域連携で実施し、事業の効率化を図った。</p> </td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td> <p>高石市発行の広報誌にセミナーの募集記事を掲載し、周知を図った。</p> </td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td> <p>セミナー終了後に講師に向けて個別相談があった。さらに、相談内容等を掘り起こしたことで、事業計画作成支援等に繋げることができた。</p> </td> </tr> </table>				①府施策連携	<p>労3番 就業促進課企業支援グループとの連携により、若手社員の採用・定着を支援した。参加企業、人材育成や労務に関する相談者を「OSAKAしごとフィールド」へ登録を誘導した他、セミナーでOSAKAしごとフィールドを紹介した。 労8番 就業促進課就業支援グループと連携し、高齢者雇用の促進を図った。</p>	②広域連携	<p>近隣の商工会議所・商工会との広域連携で実施し、事業の効率化を図った。</p>	③市町村連携	<p>高石市発行の広報誌にセミナーの募集記事を掲載し、周知を図った。</p>	④相談相乗
①府施策連携	<p>労3番 就業促進課企業支援グループとの連携により、若手社員の採用・定着を支援した。参加企業、人材育成や労務に関する相談者を「OSAKAしごとフィールド」へ登録を誘導した他、セミナーでOSAKAしごとフィールドを紹介した。 労8番 就業促進課就業支援グループと連携し、高齢者雇用の促進を図った。</p>										
②広域連携	<p>近隣の商工会議所・商工会との広域連携で実施し、事業の効率化を図った。</p>										
③市町村連携	<p>高石市発行の広報誌にセミナーの募集記事を掲載し、周知を図った。</p>										
④相談相乗	<p>セミナー終了後に講師に向けて個別相談があった。さらに、相談内容等を掘り起こしたことで、事業計画作成支援等に繋げることができた。</p>										

事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	34.0	支援実績率	56.7%	満足度	81.6	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	【中堅社員育成セミナー】 ペアワークやロールプレイングを通じて、受講者のほとんどがコミュニケーションの重要性を認識することができた。上司と部下の橋渡し役となる中堅社員のコミュニケーションスキルが若手社員の離職防止や育成にも役立つことが実感できた。								
		代表指標	中核人材となるためのコミュニケーションスキルの重要性を認識できた受講企業の割合							
		数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%			
	成果の代表事例	コミュニケーションが活発であることは、会社の効率・利益に繋がるだけでなく、若手社員の離職防止や育成にも繋がっていくとわかったので、自身もコミュニケーションスキルを磨き、中核人材へとなっていきたいと思うようになるなど、受講者のモチベーションアップにつながった。								
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	【雇用対策（定着支援）セミナー・中堅社員育成セミナー】 複数年実施しているが、一定のニーズがあるので、受講者満足度を高めるためにも、内容の工夫に努める。 【高齢者雇用促進セミナー】 法律の施行・改正は事業を行う上で、押さえておきたい内容である。 次期は実施しないが、法律の改正事項等があれば周知する。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	13.0	支援実績率	65.0%	満足度	80.0	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	【雇用対策（定着支援）セミナー】若手社員の離職防止・育成改善に向けた定着をテーマに、コミュニケーションや聴く力、モチベーション、コーチングについてポイント説明とペアワークにより習得することができた。若手社員が成長できる取組みを考えるきっかけの場を提供できたことで、12名の受講生に対して当セミナーが若年者雇用環境の改善に向けての取組みを検討する契機となった。								
		指標	若年者雇用環境の改善に向けての取組みを検討する受講企業の割合							
		数値目標	80%	実績数値	91.7%	目標達成度	114.6%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	30.0%	満足度	73.3	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	【高齢者雇用促進セミナー】既に高齢者を雇用している事業所でも法改正に伴い新たな対応が求められる。中小企業でも2021年4月1日から対象となる「同一労働同一賃金」制度や「70歳までの就業確保措置」といった法改正事項を詳細に解説したことで、施行までに事業所が整備しなければならぬことを理解でき、不安解消に繋がった。								
		指標	高齢者雇用を促進するに当たり不安を解消することができた受講企業の割合							
		数値目標	80%	実績数値	33.3%	目標達成度	41.6%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度	#DIV/0!				
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	75.0%	満足度	87.3	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	【中堅社員育成セミナー】 ペアワークやロールプレイングを通じて、大半の受講者がコミュニケーションの重要性を認識することができた。上司と部下の橋渡し役となる中堅社員がコミュニケーションスキルを習得することで、若手社員の離職防止や育成にも繋がっていくことを実感することができた。								
		指標	中核人材となるためのコミュニケーションスキルの重要性を認識できた受講企業の割合							
		数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					

高石商工会議所

事業名		創業セミナー								
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府成長戦略に基づき、産業構造の転換、競争力強化を図るためには、経済活動の新陳代謝が不可欠となっている。当会議所は、産業競争力強化法に基づく「創業支援等事業計画」認定を平成27年に受けている高石市の認定連携創業支援事業者として、市並びに地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組んでいる。ワンストップ相談窓口を開設するとともに、創業を目指す方や創業間もない方を対象として、創業者に必要な心構えや事業経営の基本を学ぶセミナーを開催する。創業者に対しては、地域支援機関と連携してフォローアップし、以後の経営指導を継続し、起業家の育成を推進する。広域連携での実施とすることで、他市町では受講する機会に恵まれない創業者を育成することにもなり、総合的な地域の活性化に繋がる。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	高石市や近隣の市や町に在住する創業予定者（女性経営者・シニア等）、副業起業予定者、創業して1～5年未満の者等								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	(開催内容)	これから創業しようとする方や創業まもない方が創業の心構えや準備のポイントを習得できるよう、テーマに沿ってセミナーを開催した。（講師：大阪府よろず支援拠点のコーディネーター4名） 開催時間はいずれも、午後1時～午後6時30分（うち講義5時間） ・第1回 2020年11月21日（土）：事業を始める時に知っておくこと ・第2回 2020年12月12日（土）：シニア創業（お金編/社会保険・雇用編） ・第3回 2021年1月23日（土）：マーケティングの基礎知識/プチ起業 ・第4回 2021年2月20日（土）：事業計画書作成のポイント/兼業副業							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	商9番 大阪府商業・サービス産業課へ適宜セミナー内容等報告し、セミナー内で大阪府施策を案内した。							
②広域連携		泉大津商工会議所・忠岡町商工会と連携し、事業の一層の周知と受講者の増加を図った。駅での配架や戸別配付等で当事業の広報活動の協力を得た。								
③市町村連携	高石市発行の広報誌にセミナーの募集記事を掲載し、担当課でのチラシ配架をしていただくなど、周知を図った。高石市の特定創業支援等事業を通じて、希望者に支援を受けたことの証明書を発行している。									
④相談相乗	支援中の事業者に対してセミナーの受講を勧奨した。セミナー受講者からの希望があれば個別支援を実施している。									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	52.0	支援実績率	130.0%	満足度	84.2	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業の始め方や必要な手続きがわからない、創業のポイントやリスクが知りたいなど、当セミナーを受講する前に感じた不安や疑問について、93%の受講者が解決したとアンケートで回答している。創業に必要な知識や情報を習得するだけでなく、収支計画やアクションプランなどを実際に記入することで、創業までの準備やスケジュール感、自身の強みを把握し、多くの受講者が創業意欲を高めたように見受けられた。いつか創業したいがまだ漠然としているという方が多かったが、受講者それぞれが面白いアイデアを持ってチャレンジを目指しているの、その新たな活動をスタートさせ、アイデアを具体化するきっかけの場を提供できた。								
		代表指標	受講者のうち創業する事業者の割合							
		数値目標	20%	実績数値	25.0%	目標達成度	125.0%			
	成果の代表事例	当セミナーに参加したA氏は、令和2年に広告代理店を開業。小規模事業者持続化補助金の申請に関する相談をきっかけに当所の相談窓口を利用しているが、経営に関する知識不足を気にされていた。当セミナーを勧めたところ積極的に受講し、あらためて経営に必要な知識や手続き等を習得された。このたび事務所を開設して本格稼働を始めたところであり、当セミナーで得た経営に役立つ情報やツールを活用しながら、目下の課題である販路開拓に日々邁進している。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローす	4回の開催日のうち、希望する日のみ受講可能としたことで、忙しい受講者にとっても受講しやすいセミナーとなった。今後も受講者のニーズに応えながら、創業に必要な知識を習得し、起業家同士の交流の場として活用していただけるよう配慮していきたい。								